

# 健全な男女共同参画社会をめざす会

正しい男女平等とは

[トップ](#) [入会のご案内](#) [会報](#) [活動内容](#) [リンク集](#) [お問い合わせ](#)

[会報一覧に戻る](#)

## なでしこ通信 1号

### なでしこ通信 目次

#### 創刊号

- 男も女も幸せであるために  
～発刊にあたって～

会長 小笠原ミワ子



- 高橋史朗先生講演会 盛大に開催

- 参加者の声

- めざす会入会のご案内

健全な男女共同参画社会をめざす会  
なでしこ通信 創刊号 H16・10・1



# 男も女も幸せであるために

## ～発刊にあたって～

会長 小笠原ミワ子

「暑さ寒さも彼岸まで」ということわざ通り、さしもの猛暑・残暑もやっとやわらぎ、朝夕めっきり涼しくなってきました。

さて、このような自然界の変化に呼応するかのように、私たちが考えていこうとする男女共同参画の分野にも、ようやく改善のきざしが見られるようになりました。

これまで「男女平等の社会を実現するにはジェンダーフリーでなくてはならない」と言わんばかりの“暴風”が吹き荒れていました。しかしほんとうにそうなのでしょうか。私たちが価値あるもの、意義あるものとして大切にしてきた「男らしさ・女らしさ」をなくそうとし、ひな祭りや端午の節句、むかし話までも否定しようとする考え方が、はたして人や社会を幸せにするものなののでしょうか。



私たち「健全な男女共同参画社会をめざす会（以下「めざす会」と略称）」はこのような素朴な疑問から生まれた市民グループです。メンバーの大半は女性で、仕事を持っていたり、専業主婦だったりさまざまです。それぞれの立場や経験から

「私たちが幸せを実感できる男女のあり方を考えよう」

「子供たちの心を育てる家族や大人の役割って何だろう」

「どうすれば人と人とのきずなが深まるのだろう」

など、多くのことについて話し合ってきました。そしてその中から「今まであたりまえのこと」として私たちが考えていたこと（たとえば親は手塩にかけて子供を育てること、家族は互いに助け合うこと、いけないことをはつきり子供に教えきること、先生や目上の人に敬意をもって対すること等）が次第に崩れてきているのではないか、そしてその「あたりまえ」を意図的に崩そうとしているのがジェンダーフリーに代表される近年の考え方ではないかと気づいたのです。

「男女共同参画」自体の考え方は、男女がおのそのの特性や個性・天分を生かしあい、活力ある社会を築くものであると思います。しかし各地で制定されている条例などを見ると、そこに「男女の性差」をそのまま差別ととらえるような行きすぎた考え方が色濃く盛り込まれていることに不安を覚えます。私たちが会の名称に、あえて「健全な」という一語をつけ加えた理由はここにあります。皆様もこの問題についてぜひ私たちといっしょに考えてみませんか。

去る9月22日、夕方6時半から松山市男女共同参画センター（コムズ）において私たちの会が主催する初めての講演会が行われました。

講師は明星大学教授・高橋史朗先生。一見明治の元勳を思わすような立派なひげをたくわえておいでになり、少しいかつい感じがするのですが、お話をうかがうととても優しく、温かいお人柄が感じられる先生でした。文部科学省や全国のPTA、多くの団体からの要望にこたえ、東奔西走の日々を送っておられます。教育問題についてはまさに当代の第一人者、と言っているのではないのでしょうか（この翌日も県民文化会館で行われた「親学フォーラム」の講師を務められました）。

この日は平日の上、あいにくの雨模様だったのですが、開場前から参加者がつめかけ、開会后しばらくすると用意した二百数十席は満席となり、予備の椅子が追加されるという盛会になりました。

会長挨拶に続き、女性2名から体験談がありました。お一人は小学校の先生として、もうお一人は福祉施設に勤務する立場から、現在の男女共同参画社会の疑問や、この条例がめざしているものへの不安を提起されました。

高橋先生の演題は「男女共同参画社会とジェンダーフリー」。先生は「男女共同参画とは男女の社会参加の機会均等を図ること」「男女平等は男女の同等化をめざすもの」とした上で、ジェンダーフリーは「男女の特性を否定し男女を同質化しようとするもの」と、その危険性を多くの角度から説明されました。先生は佐世保の事件を例に「今多くの子供たちがいのちを実感できなくなっている」として、その原因が親自身が親として必要な素養や常識、覚悟を身につけていないことを指摘されました。「子供の存在は親の負担である」=80%と



「親が子の犠牲になることはやむをえない」=39%（世界73ヶ国中72位）という数字はかなりショッキングなものでした。また、かつて家庭のしつけのモデルであった「厳父・慈母」が今では「厳母・甘父」となっており、父性・母性原理

が欠如してしまったこと、さらに「父よ、何か言ってくれ！母よ、何も言わないでくれ！」という会場の笑いを誘った高校生の言葉を引用し、ふたつの原理のバランスこそが大切だ、と強調されました。

子供を立ち直らせるためには感動や小さな成功体験こそ大切であり、それは自分の存在を無条件に喜びとする家族の絆が前提となる、というお話にうなづく参加者も多く、ジェンダーフリーはこの家族のつながりを断ち切り、幸福のものさしの基準を狂わせていく考えであることがよくわかりました。

（高橋史朗先生の講演の録音テープあるいはビデオをご希望の方はご連絡下さい）

◆「ジェンダ」という言葉を初めて聞いたのは家庭科の授業でした。私が一番気になったのは「差別語」でした。家内、奥さん、亭主などは最近では使うと差別になると学習しました。私はそれを聞いたとき、驚きと同時に違和感を感じました。だけどそれをノートに書き、何事もなかったように時が過ぎたのでした。今になって思えば、きっと周りのみんなも驚きと違和感を持ったと思います。今回の講演会に参加して、やはり私の違和感はあっていたんだと確信できました。男女平等の社会づくりの中、的が外れている考えだと思っています。 (10代女性)

◆児童館（学童保育クラブ）で働いているのですが、子供の育成にかかわる仕事をする者として、とても考えさせられました。 (20代女性)

◆あちらこちらできれいな言葉で「ジェンダ-フリー」が語られ、いつの間にか流されてしまいそうになる現実もわかります。“おかしい”事に気付けた私たちは、少しずつでも「大切なものは大切」と口にしてゆきたいと思います。

(30代女性)

◆私も高校生、小学生、保育園児と子供を持っていますが、最近急速にジエング-リ-の思想が教育の現場に入り込んでいることを不安に思っています。友人の保母さんからも強制的にジエング-リ-の勉強会に出席させられると聞いて、ゾットしています。日本の未来を担っていく子供たちを守るためにも、人間らしさを無視したおかしい思想が撤廃されることを希望します。（40代女性）

◆子を育てるのは家庭のあり方だということ、本当に理解でき感動でした。「目からうろこ」の話でした。（40代女性）

◆改めて日本の伝統文化の基本である和の精神が全ての基礎であることを感じました。自らの心を高めていく事の大切さを教えて頂きました。（50代男性）

◆講師と同感です。縦と横の人間関係を本当に大切にするために、倫理を子供に教えたく思います。（50代男性）

◆男女共同参画に関する劇などを小中学校では人権教育の一環として行っている。内容はフェミニストの考えそのもので、問題があると思ったので意見をアンケートに書いたら、次の年から父兄のアンケートがなくなった。松山市の小中学校にもなかなか大変な問題が残っています。

(40代女性)

◆なぜ男女の区別を神様がつけられたのか？必要あつての事だと思います。世の中に流される事なく、何が大事なのかを判断できるような生き方、思いになれますよう。日本をこれ以上だめにしないようがんばって下さい。

(40代女性)

【産経新聞 9月24日 愛媛版】（※資料なし）

## ■■■皆様へのお願い■■■

昨年、多くの議論の末「松山市男女共同参画推進条例」が制定されました。私たち「健全な男女共同参画社会をめざす会」は、その条例に対する疑問から、



昨年秋に生まれた市民グループです。この市条例やそのもととなった国の基本法が示す「男女共同参画」を研究するうちに、私たちはこの考え方は決して社会を向上させるものではなく、むしろ世の中の秩序や道徳を崩壊させ人間を不幸に導くものになる、という心配を深めるようになりました。私たちの基本的な考えは次の通りです。

## 。男らしさ・女らしさを尊重しましょ う

ジェンダー（性差による固定的役割分担）をなくすという名のもとに、男女のあるべき性差を否定することは問題です。男女の特性と天分を生かし、互いが補い協力し合える豊かな社会を築きましょう。

## 。家族の絆を重視しましょう

家庭は社会の基本です。親子、夫婦、兄弟姉妹など、家族の絆を大切にする社会を築きましょう。「夫婦別姓」には反対します。また専業主婦の役割を尊重しましょう。



## ○ 「性の自己決定」を見直しましょう

「性の自己決定」の名のもとにフリーセックスや援助交際、安易な中絶が是認される社会は不健全です。胎児の生命を守り性道德の退廃をもたらす風潮を是正しましょう。

## ○ 過激な性教育を見直しましょう

小学生にコンドームの装着方法を教える等の過激な性教育、また男女同室で宿泊や更衣をさせる学校行事・授業の事例が報告されています。過激な性教育の是正と、男女の性差を考えた良識ある教育を望みます。

## ○ 表現の自由を尊重しましょう

「主人」「奥さん」「家内」などの日常用語が差別として否定されようとしています。表現の自由を守りましょう。

# 。日本の良き伝統文化を尊重しましょ う

鯉のぼりやひな祭りなどの風習、桃太郎などの昔話までがジェンダーフリーの名の下に否定されようとしています。日本の良き伝統文化を守りましょう。

このような意見に同意してくださる方々を会員として広く募りたいと思います。入会ご希望の方は、同封の振り込み用紙に必要事項をご記入の上、年会費一千円をお送り下さい。お申し込みいただいた方には

- 会報「なでしこ通信」をお送りします（年6回）
- 講演会・学習会等の行事についてご案内いたします。

また、当会は毎月の定例会のほかに、女性を中心として身近な相談や学習ができる集い（なでしこ会）を開いています。興味・関心のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

**健全な男女共同参画社会をめざす会**

会長 小笠原ミワ子

〒790-0931松山市西石井1-3-30

電話090-3181-4004 FAX 089-964-3903

メール [t64r59@bma.biglobe.ne.jp](mailto:t64r59@bma.biglobe.ne.jp)

Copyright © 2009. 健全な男女共同参画社会をめざす会, All Rights Reserved.